

令和2年産米出荷始まる

9月14日(月) 芦別バラ施設、北の米蔵において令和2年産米の初出荷が行われました。

北の米蔵では赤平市住吉地区の株式会社YAMA DADAさんの高度クリーン米ゆめぴりか、芦別バラ施設では芦別市上芦別地区の櫻田浩生さんの高度クリーン米ゆめぴりかがそれぞれの施設に初出荷され、両名に、当JAより記念品が贈られました。

芦別地区の櫻田さんは「今年は今までに経験したことのない天候で管理が難しかったが良い米を作ることが出来た。」



左から赤平支店高橋支店長 住吉地区山田昌毅さん ホクレン岩見沢支所米穀課松田係長



左から芦別支店東藤支店長 上芦別地区櫻田浩生さん ホクレン岩見沢支所米穀課松田係長

施設操業状況

小麦は7月16日から8月13日で生荷受けが終了し、ナタネについては7月20日より8月3日までの受け入れ期間となりました。受け入れ重量については次の表の通りとなっています。

蕎麦につきましては、8月17日より受け入れが始まり、現在も受入れ中となっていますので記載はされておりません。

小麦各品種別受入重量

単位/kg

品種/区分	生	半乾	本乾	品種合計
ハルユタカ	574,467.0	0.0	190,200.0	764,667.0
きたほなみ	1,502,337.0	227,136.0	884,457.7	2,613,930.7
区分合計	2,076,804.0	227,136.0	1,074,657.7	3,378,597.7

菜種受入重量

単位/kg

区分	生	半乾	本乾	合計
計	342,948.0	3,163.1	127,168.4	473,279.5

たきかわRCクラブが簡易土壌分析を体験

9月10日(木) 当JA土壌分析室において、たきかわRCクラブの4名の生産者が普及センター中空支所の平川氏の指導の下、簡易土壌分析を体験しました。

たきかわRCクラブは14名で構成されており、滝川市の次代を担う農業青年としての技術、教養、リーダーシップの向上を図る為に経営や地域農業の課題について、個人で解決できない問題を仲間と調査、検討、実践をし、ひいては地域農業の活性化に貢献することを目的とし活動している組織となっております。

体験内容としては、各生産者が自らの土を持ち、PH、ECを測定・分析、矯正が必要な数値が出た際には、各自で施肥量を計算しました。参加した会員からは良い体験ができたとの声がありました。

